



郡上カンパニー

根っこのある生きかたを、つくる。

PROJECT 12

郡上発！ 水出しコーヒープロジェクト

PROJECT PARTNER

小澤 陽祐

おざわようすけ(おじゃ)

小澤陽祐(OJA)

PJPシート 自分編

似顔絵・写真



キャッチコピー・座右の銘

「やるなら、今しかねえ」
by 田中邦衛

フランクな自己紹介

こんにちは、小澤陽祐です。趣味は音楽鑑賞で、黒人音楽特にHipHopが好きです。郡上八幡のとなり町、郡上大和に自宅がありますが、会社は生まれ育った千葉県松戸市にあるため、行ったり来たりの一拠点生活にチャレンジ中です。自分も移住してまだ一年、やっと郡上での暮らしが始まったばかりなので、これから移住してくる皆さんと同じ目線で、一緒に郡上に根ざしていけたらいいと思います。

プロフィール文

1976年千葉県松戸市生まれ。有限会社スロー代表取締役。NGOナマケモノ倶楽部共同代表。1999年よりスロームーブメントに関わる。2000年7月スロービジネス第1号として、20代男子3名でスロー社を設立。20代の起業ならではの紆余曲折を経ながらも、【オーガニック】【フェアトレード】のコーヒー豆のみを【自社焙煎】することに特化し、スローながらも着々と卸先・顧客をふやしている。2009年10月には、スローコーヒー八柱店をオープン。2016年からは焙煎機の電力を100%太陽光発電の電気に切替え【ソーラー焙煎】を開始。2017年夏、郡上市に自宅を建て移住。現在松戸と郡上で二拠点生活中。

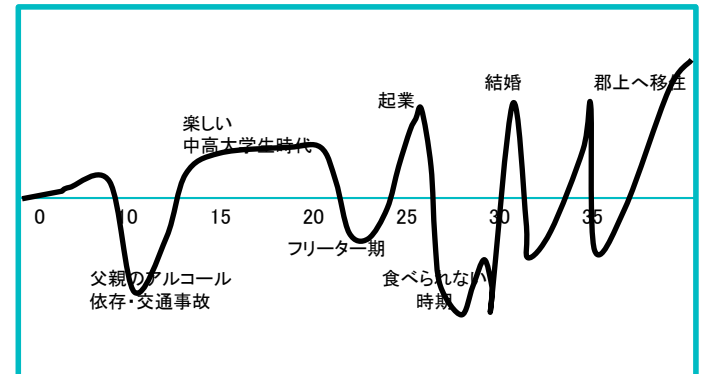
自分ヒストリー

昔

- ・小学校:家のまわりや学校の校庭などでいつも虫探しをしているような子供でした。身近な昆虫、魚、両生類、爬虫類に至るまでひとつひとつ飼育しました。この身近な自然で遊んだ体験が、今の仕事につながっていると分析しています。
- ・中学校:学校の勉強は好きでしたが、人を笑わせるのが好きで授業中にふざけた発言をして先生に怒られたりしていました。
- ・高校:学校の勉強は変わらず好きでしたが自我の目覚めがあり、友達と遊びまわった3年間でした。高校受験に失敗し受験勉強がイヤになっていたため、大学には推薦で進学しました。
- ・大学(1994~1998):「勉強自体はそんなに好きではない」ということをはっきり自覚し、高校からの仲間たちと、SMP(スノーボード、麻雀、パチンコ)という未公認サークルをつくり勉強はしませんでした。大学で得たものは人との縁だけです。初海外旅行でニュージーランドに行き、「外から日本をみる視点」ができました。大学3年になっても「やりたい仕事」が見つけられず、就職活動はしませんでした。
- ・フリーター時代(1998~2000):2年間のフリーター生活の間に、憧れのニューヨークへ1ヶ月間遊びに行き、黒人音楽に触れてきました。大学時代のご縁からNGOナマケモノ倶楽部の設立に関わり、有限会社スローを立ち上げることに。
- ・起業~現在(2000~):当時ではめずらしいソーシャルビジネスを行う会社として応援して頂くも「商売」「経営」というものを全く分からず始めたため紆余曲折を経ながらもなんとか継続・発展。2011年の311の経験から郡上への移住を決意。徐々に準備を始め2016年夏に自宅を郡上市に建て郡上市民に。2017年春からHUBGUJOIに入居させてもらったご縁から「郡上発!水出しプロジェクト」を開始することに。

今

人生グラフ:横軸は年齢・縦軸はイキイキ度(幸せ度)。
人生で輝いていた時、沈んでいた時を見える化しましょう!



みんなが知らない自慢・芸・得意技

HipHop好きが高じて2005年よりrapをするようになりました。干支にちなんだrapを1年に1曲ずつ作っています。(2012年以降完成に至らず)

おざわようすけ(おじゃ)

PJPシート プロジェクト編①

小澤陽祐(OJA)

個人的背景

きっかけは2011年の311です。私が当時住んでいた松戸市に放射能が雨で落ち、水源である江戸川が汚染されました。水道水から放射能が検出されたため「水の奪い合い」が起きました。その時に郡上の親族が自然の水をポリタンクに汲み送ってくれ、私は救われた気がしました。都市では「おいしい水は買うもの」ですが、郡上では「共有のもの」です。この時の経験をいつか表現したいと思っていました。

課題・ビジネスチャンス

郡上は「みずと踊りのまち」と言われるが、「水」に関してはまだまだあまり知れわたっていない。また、郡上の人たちも自然の水を段々使わなくなっている。そこで、郡上の水文化を引き継ぎつつ、観光の目的のひとつになりうる本プロジェクトを実行することにしました。2017年の6月からテスト実施を複数回おこない手応えを感じております。

プロジェクト概要

郡上発！水出しコーヒープロジェクト

「水出しコーヒーキット」を郡上八幡のカフェ・飲食店・旅館・町なかの観光・商業施設などの協力店（最初は10ヶ所ぐらいを想定）にて販売してもらう

→郡上を訪れた人が協力店で「水出しコーヒーキット」を購入

→水汲みMAPを見ながらまち歩きをして、水汲みポイントを訪れ、自分の舌で水の味を確かめ、気に入った水で水出しコーヒーを仕込む

→その日の帰り道や宿泊施設で、もしくは自宅に着いてからできあがった水出しコーヒーを楽しむ

→郡上八幡のお土産＆お土産話になる

→郡上の「水」を実際に体験したことで記憶に残る、「水」のありがたさを再認識できる

地元の方からも「こういう、水を活用する新しいアイデアが出てくることで、郡上の水文化が継承される」と言って頂けて、プロジェクトを実行する意義を感じています。

地域に受け入れられる場合、水出しコーヒースタンド“郡上の水先案内所”を郡上八幡の町なか観光導線上につくる構想もあります。



あなたは、郡上のどんな①人・コミュニティ②自然③文化に根ざっていて、このPJはそれぞれにどんな価値を還元できると思いますか？

	①人・コミュニティ	②自然	③文化
あなたが根ざしているもの	郡上の自然の水を活用し守り暮らしてきた人々、その地域でのコミュニティ	郡上のきれいな水、山、自然、生き物、人々の心	自然に敬意を持ち、大切に使い、守り、暮らしてきた文化
プロジェクトがそれぞれに対して還元できる価値	郡上の水文化を受け継ぎ、つないであとの世代にも残していくこと	受け継ぎ、あとの世代にもつないで残していくこと	受け継ぎ、新しい形で使うことであとの世代にもつないで残していくこと

おざわようすけ(おじゃ)

PJPシート プロジェクト編②

小澤陽祐(OJA)

3年間のロードマップと3年後にどうなしてほしいか

1年目 ↓	種まき期	やること	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域産業資源活用事業としての認定」をめざす ・応募される方との事業計画の作成 ・地域との合意形成 	<ul style="list-style-type: none"> ・水出しキット取扱営業 ・郡上八幡での広報宣伝 ・関連事業者との連携を模索 	<ul style="list-style-type: none"> ・まち歩きツアーの実施 ・水質調査 ・水質研究
2年目 ↓	発芽期	やること	<ul style="list-style-type: none"> ・(認定事業となった場合)補助金の申請 ・郡上での広報宣伝 ・関連事業者との連携を開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・水出しコーヒースタンド“郡上の水先案内所”構想を練る ・まち歩きツアーの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・水質調査 ・水質研究
3年目 ↓	成育期	やること	<ul style="list-style-type: none"> ・(認定事業となった場合)補助金の申請 ・より広域での広報宣伝 ・関連事業者との連携を強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・水出しコーヒースタンド“郡上の水先案内所”構想に着手 ・まち歩きツアーの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・水質調査 ・水質研究
3年後の理想状態					
郡上八幡で「水出しコーヒースタンド」を持って歩いている人をよく見かけられるようになり、地域の人も「水出しプロジェクト」を知っていて、「郡上はみずのまち」という意識が再認識され始めている状態。全国の水の美味しい地域からも注目され、視察や相談が来ている。事業としても発展していて、今回参加してくれた方を地域おこし協力隊のベーシックインカムがなくても雇用できるぐらいの事業規模になっている状態。					

どんな人に来てほしいか？スキル/マインド/実績など

募集メッセージ(プロジェクトのわくわく感)

PJPの関わり方

<p>実績は問いませんが、自分で自分の未来を切り拓いていく意志のある方に来てほしいです。単に「雇われ」という認識では長続きもしないと予想されます。私は二拠点生活をしていますので、私が郡上に不在の間は実際に表の顔として動いてもらう場面も出てきます。「会社の役員」位の意識レベルで共に働いてくれる人を求めます。</p>	<p>水に思いをめぐらせ、水のありがたさを再認識できる仕組みを一緒に作りましょう！現在のプランは今年2月のHACKGUJO水出しチームメンバーとその後自分が考えたもの、今後は応募してくれる方のアイデアを足したプランを実行していきたいと思っていますので、水が好き・コーヒーが好きの方の応募をお待ちしています！</p>	<p>A. 私自身がフルコミットして一緒に取り組みます。</p> <p>B. 私が今取り組んでいる事業を基盤に、新しい事業を一緒につくります。</p> <p>C. 私にとっても未知の分野、新しいチャレンジです。</p>
---	---	---

暮らしのイメージとサポート

<p>プロジェクトの対象地域</p> <p>郡上八幡から郡上市の他の地域、その後は全国の水の美味しい地域へ</p> <p>その地域での暮らしはどんなものですか？(※移住者の居住地がこの地域になるとは限りません)</p> <p>自然への畏敬の念をもち、自然と共にある暮らし。自然の水を引き、活用する。四季を感じ、他の動植物とも共生する。自分たちの暮らしは自分たちでつくる。地域のことは地域で解決する。</p>	<p>あなたはプロジェクトに応募する人の暮らしにどんなサポートできますか？</p> <p>「ライフ・ワーク・バランス」「自然や土に触れる暮らし」「自主・自立できる生き方」「地域活動への参加」等に関してネットワーク構築中。</p> <p>応募者に近い目線で応募者のチャレンジに寄り添い、共に追求したいです。</p>
---	--